

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

社員も技術も輝く「人間ひろば経営」(その1、人間重視の経営)

矢崎 昭三郎 (関ヶ原製作所相談役)

1. 最近、仕事とプライベートを分けて考える人も多いようですが、関ヶ原製作所の考え方は違います。会社は社員が1日8時間も一緒に働いている場です。仕事は人生を充実させるためにあり、職場は成長の場であるべきです。そして、社員の自己実現を助けるのが経営ではないでしょうか。社員数400人弱の中堅企業ですが、社員と共に生活共同体づくりにまい進してきたことが当社の最大の特徴です。
2. 本社工場は、関ヶ原の戦いの舞台となった盆地の一角にあります。製品の例が、鉄道やモノレールの分岐器や、トンネルを掘るシールドマシン、船舶に搭載するクレーン、建設機械用の油圧器などです。その多くが一品生産的な受注生産品で、大型機器でありながら、高い加工精度を出す匠(たくみ)の技が必要です。大手企業では煩雑で扱いにくく、中小企業では技術が及ばない高付加価値製品を手掛ける「ニッチのデパート」を標榜しています。
3. ただ、この特徴は、収益性のためというより、むしろ人間重視の経営を追求した末に行き着いたものなのです。

(参考:「日経ビジネス」2022年8月8日号)

幹部への活きた言葉

蒔いた種はいつ現れるのか

横田 南嶺 (臨済宗円覚寺派管長)

1. 道元禅師は蒔いた種がいつ現れるかということで三種類挙げておられます。生きている間に現れる場合と、次の世代に現れると、それよりさらに後の時代に現れる場合があると。私たちは自分の子や孫の時代まで思いを馳せ、蒔いた種は必ずどこかで発芽し、誰かがそれを刈り取らなくてはいけないということを自覚して生きなくてはいけないと強く思います。「自分一代がよければそれでいいんだ」という考えは戒めるべきでしょう。
2. 仏教の教えを分かりやすく広められた松原泰道先生がよく「小さい事でも少しでも悪い事は避け、よい事をし、人によくしてあげよう」と語られ「仏教はこれに尽きるんだ」と易しく言われております。

(参考:「致知」2022年10月号)

経営者のための危機管理

ホテル業界の隠れた大問題(清掃人材難)

1. コロナ禍の谷間のたびに、行動自粛から解放された人々の旅行熱が高まった。週末のホテルでは、チェックインで1時間待ちが当たり前のように発生。中には「4時間待ちもあった」という。なぜ、このようなことが起きたのか。言わずもがな、ホテルを支えるのは接客スタッフだけではない。客室を整備する清掃スタッフがいないければ、現場はうまく回らない。
2. チェックインの大幅な遅れの原因はまさにそれ。高級ホテルであればあるほど、客室の快適さはマストだ。それにもかかわらず、ベストメイクを含めた清掃担当のスタッフの数が、急増した客室需要に追いつかなかったのだ。こうして清掃スタッフの時給は高騰した。沖縄では、最低賃金820円(時給)を大幅に上回る「時給1200~1500円」も散見される。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2022年8月20日号)

古典に学ぶ

現今の教育は智育を重んずる

(解説) 昔の青年は自然と身を修めると共に、常に天下国家の事を憂い、朴实にして廉恥を重んじ、信義を貴ぶという気風が盛んであった。これに反して、現今の教育は智育を重んずるの結果、精神の修養を等閑に附して心の学問に力を尽くさないから、青年の品性は大いに憂うべきものがある。

(参考: 渋沢栄一「論語と算盤」: 国書刊行会)